

1部 水野谷武志ゼミ I・II

参加学生数 21 名



水野谷 武志
地域経済学科
教授



緊急避難用高台人工地盤「望海橋」をバックに

離島における観光と地域活性化—奥尻島を事例に 研修地：奥尻町

●研修目的

地理的条件が厳しい離島では地域活性化の実現が難しい課題となっているが、特に観光の視点から地域活性化の現状と課題を具体的な地域で考察することが本研修の課題である。そこで、観光資源にめぐまれ、地域活性化にも積極的に取り組んでいる奥尻島を事例とした。

研修先・日程

- 8月18日 11:00大学出発→18:45奥尻港着
- 8月19日 奥尻島観光協会との意見交換会（奥尻商工会2階会議室）、奥尻町地域政策課商工観光係との意見交換会（海洋研修センター）、賽の河原公園を散策、歴史民俗資料展示室（稲穂ふれあいセンター）を見学、宮津弁天と球島山展望台を散策、「チーム島おこし」メンバーとの交流会（奥尻町町民センター）
- 8月20日 徳洋記念碑を見学、奥尻島津波館を見学、北追岬公園を散策、奥尻ワイナリーを見学、奥尻町教育委員会との意見交換会（海洋研修センター）、神威協温泉保養所で温泉に入る、ゲストハウス imacoco を訪問＋意見交換
- 8月21日 緊急避難用高台人工地盤「望海橋」（青苗港）を見学、奥尻島漁業組合青年部「海館」を見学＋意見交換会
14:00奥尻港発→21:00大学着

写真①奥尻島観光協会との意見交換会。②歴史民俗資料展示室。③「チーム島おこし」メンバーとの交流会。④奥尻島津波館。⑤奥尻ワイナリー。⑥奥尻島マスコットキャラクター「うにまる」



●総括

観光客が減少傾向にある中で、島で唯一の大型ホテル「緑館」が2018年度で閉館し、それに伴って瀬棚・奥尻間の夏季就航フェリーも2019年度に休止となり、奥尻町は難しい局面を迎えていた。そんな中でも様々な主体が地道な活動を続けていることがわかった。公的部門としては地域振興課や観光協会がレンタカーや観光メニューを充実させようとしており、また島留学として全国からも注目され、多くの島外高校生を引きつけている奥尻高校でも、高校生による島の観光プランが考案されている。民間部門としては、体験・滞在型観光で全国から観光客・リピーターを獲得している「ゲストハウス imacoco」、島において本格イタリアンを提供している「レストラン・ベラヴィスタ」、ぶどう栽培からワインの製造販売まで手がける「奥尻ワイナリー」、島の漁師によって島で採れた魚介類を最新の冷凍技術で販売している「海館」、さらに、島の有志が集まって島の活性化のために様々なイベントを企画・実行している「奥尻島チーム島おこし」は魅力的であった。

このような活動を担っている多くが島の若手・中堅層であり、本研修においてその人々との熱い思いと行動力に触れ、これが奥尻島における観光発展、ひいては地域活性化につながる可能性を大いに感じた。

学生研修記

守山 奈央加
地域経済学科 2年
札幌白石高校出身



観光と地域活性化

私たちは観光と地域活性化というテーマのもとに奥尻島を研修地とし、その際に、ゲストハウスの「imacoco」や、奥尻ワインの製造所「奥尻ワイナリー」を訪問しました。imacocoでは、オーナーにインタビューしました。オーナーは「出会い」を大切にしていると仰っており、ゲストハウスを通じ、一人でも多くの観光客に島の魅力を伝え、再度島を訪れるリピーターを増やすことで、奥尻島の観光事業に大きく貢献していらっしゃいました。また、奥尻ワイナリーでは、これまでにワインの販売実績を積み重ねており、いずれは世界に向けて発信できるようなワインを生産することを目指していることを知りました。このように、観光協会などの公的機関ではない民間企業でも、島を活性化するための活動が見られ、また、出逢いが資源ということをもっと感じた研修でした。

難波 瞭太
地域経済学科 3年
旭川大学付属高校出身



離島での観光による地域活性化

今回、水野谷ゼミでは離島での観光による地域活性化をテーマにし、奥尻町を調査地としました。奥尻町では地域振興課・奥尻観光協会・教育委員会の職員の方との意見交換会という場を設けていただきました。それぞれ前もって準備していた質問書とともに奥尻町の観光についての内容を説明していただきました。奥尻町で一番大きい緑館というホテルが閉鎖したことにより、船の便が減少。これにより観光客が減少していることや島外の生徒を呼ぶ、地域みらい留学についてなど資料をもとに詳しく説明していただきました。やはり少子高齢化が進んでいる中、人口減少・観光客減少により地域の活気が失われかけているのが伝わってきました。ですが、なにより地域職員の方はもちろん、住民の方々・旅館の方々がとても親切で人とのつながりを大事にしている地域でした。伝わり切れていない魅力が離島には山ほどあり、また機会があれば観光しに行きたいと思います。